

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
1	少子化対策について	<p>【質問】 国は、異次元の少子化対策として、児童手当の拡充等、主に子育て支援策を挙げています。しかし、過去の実績としては、子育て支援に予算を投じて貯蓄及び教育・娯楽等に消費されるのみで、少子化対策に効果があるとは思えません。 今後、子供を含めた若い人達の人口をどう増やしていくかが重要な課題かと思いますが、西尾市としましても安心して家庭を作り、子供を育てることができる環境づくりについて問われることとなります。 そこでお聞きします。 市長の市政運営のスローガンである「人が輝き、まちが躍動する、共生・共創のまちづくり」の一環として、周辺自治体と比べて西尾市が魅力的に思われる独自の政策を検討していますか。 特に、若い人達を含め、西尾市に住んでみたいと思うような魅力的な少子化対策及び子育て支援策を検討していますか。</p>	<p>令和5年6月に国が発表した「こども未来戦略方針」に基づき、若い世代の所得向上に向けた取組や出産等の経済的な負担を軽減する施策が今後実施されますが、市におきましても、国の経済的な支援策とうまくバランスをとり、子育て環境の整備など若い人達が「西尾市に住みたい」と魅力的に感じてもらえるまちづくりを重視していくべきであると考えています。 主な独自施策を、5つご紹介させていただきます。 1つ目は、「共生社会実現のために全世代の市民が集う多様な学び・交流の場」を施設コンセプトとする生涯学習センター（仮称）の建設です。西尾公園テニスコートの移転後の跡地周辺に令和9年度の完成を目指して整備を進めています。この新たな多目的な複合施設には、子ども同士や親子で安心してさまざまな遊びが体験できる「子どもワクワク広場」や、外国にルーツを持つ子どもたちが日本語などを学ぶ拠点などを設置するとともに、子育て世代が安心安全で快適に過ごせる公園として利用いただけるよう現在計画しています。 2つ目は、中心市街地の活性化「賑わいのあるまちなか」の実現です。 昨年11月から今年9月まで西尾駅西側の広場に設置した緑のコンテナショップ「BOXPARKエキニシ」は、多くの市民の方に訪れていただき楽しんでいただきました。11月には、「みどり川の新しい日常」を提案する社会実験を新しくスタートします。若い人達にとって魅力的に感じてもらえる「賑わいのあるまちなか」をつくっていきたくと考えています。 3つ目は、「しごと」や「ひと」を呼び込む事業として実施予定の「ビジネスプランコンテスト」です。この事業は、西尾市の課題を解決し、地域を活性化させるビジネスアイデアを一般公募し、その実現に向けて伴走支援を行っていくものです。 4つ目は、市が抱える地域課題の解決や地域活性化を図るため、官民連携ワンストップ窓口「Cラボ西尾」による民間のアイデアやノウハウを活かす民間提案の活用です。 5つ目は、若い職員の感性や知恵を活かすため、現在実施しているワクワク西尾創生コンテストの活用です。若い職員の魅力あるまちづくりへのアイデアを施策に活かしていきます。 西尾市独自の施策として、国の基準額に上乗せして出生した子どもを養育する方に支給する西尾すこやか祝い金などがあります。今後も市の魅力を高めるとともに、新たに「しごと」、「ひと」を呼び込むことで、賑わいのあるまちを創出し、定住人口の増加につなげていきたいと考えています。</p>	<p>秘書政策課 子育て支援課 保育課 家庭児童支援課 商工振興課 公園緑地課 生涯学習課</p>

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
2	米小校区の防災対策について	<p>【質問】</p> <p>1 令和5年6月の記録的大雨の際に、矢作川の洪水に関する警戒レベル4「避難指示」が発令されました。朝鮮川の排水が間に合わず越流し、田植えを終えた水田が2、3日水没してしまいました。少しでも早く排水できるよう対策をして欲しいです。ハザードマップでは、米津小学校周辺及び朝鮮川流域は、大規模水害時は浸水する可能性があると言われてますが、朝鮮川の氾濫と併せてその対策はどうなっていますか。また、名鉄西尾線の矢作川鉄橋の老朽化が心配ですが、補強しなくて大丈夫ですか。</p> <p>2 避難所を指定する基準はどのようなのですか。洪水・大雨などの水害に関し、現在の避難所である米津小学校より高台にある、米津ふれあいセンターを避難所に追加してください。</p> <p>3 市に、避難所開設マニュアルはありますか。災害はいつ発生するか分からないため、市民が見ても分かる、フローチャート的なものが必要だと思えます。また、各避難所への職員配置はどのようになっていますか。</p> <p>年度当初に、校区担当職員と校区防災会等の連携体制の確認が必要ですが、年度当初は人事異動に伴い職員体制に不備があると思われます。その状況は危機管理的には弱点であると考えられるため、今後の検討課題としてください。</p> <p>情報の共有化、人間関係の構築など連携を図るために、校区防災会会議に避難所配置職員が参加してはどうですか。校区防災会会議は毎月1回開催しますが、職員の参加は年度初回とし、以降は必要に応じての参加を希望します。</p>	<p>1 当地区には米中排水機場があり、朝鮮川沿いの水路に流入した雨水等を鹿乗川へ排出していますが、排水機場は豪雨時に田畑に溜まった水を24時間以内に排水することを目的とした施設であり、河川の越水による流入までを排水することは難しい状況であります。</p> <p>朝鮮川周辺の浸水対策につきましては、現在、愛知県において河川整備計画に基づく改修工事を下流側から進めていただいております。安城市境の坂下小橋まで完了をいたしました。今後も一層の事業推進が図られますよう県、国に要望するとともに、本市の総合的な雨水排水対策も含め、早期に氾濫や浸水が解消されるよう努めてまいります。</p> <p>矢作川鉄橋については、名古屋鉄道株式会社において2年に1回定期的な検査を実施し、構造物の健全性が保たれていることを確認しております。また、橋桁自体を保護する役割である塗装も適切な時期に塗替えを行うことで、橋桁の耐久性を確保しており、耐震については、耐震対策に係る省令や指針に基づき、国の指導のもと優先順位を踏まえ、耐震対策を実施しておりますので、市としても心配ないと受け止めています。</p> <p>なお、名古屋鉄道株式会社が鉄道全般の安全性等について、毎年、安全報告書をホームページにて公開されておりますので、ご安心ください。</p> <p>2 米津小学校区の洪水時の避難所については、大規模水害時に米津小学校の2階以下、体育館が使用できない可能性があるため、鶴城体育館、鶴城中学校を含めた3カ所を指定しております。米津ふれあいセンターも大規模水害時には浸水するおそれがあり、安全確保のため指定することはできません。</p> <p>3 避難所開設マニュアルの有無については、避難所を開設するまでの手順が記載してあります「避難情報に関する判断・伝達マニュアル」がございます。例えば洪水に関しては、河川ごとに警戒すべき区域、避難情報の判断基準、開設する避難所が示してございます。また、避難所を開設してからの運営手順については、「避難所運営マニュアル」がございます。これらのマニュアルについては、市ホームページで確認ができるようにしております。</p> <p>各避難所の配置職員については、原則、避難所の近くに居住している職員を配置しております。人事異動による職員体制の不備については、異動先における災害時の担当事務により、避難所配置職員として従事できない場合のみ変更とし、必要最小限に留めております。また、避難所配置職員と校区防災会との連携については、避難所運営を担っていただくうえで必要不可欠と考えておりますので、お声がけいただければ、危機管理課職員とともに校区防災会会議に参加させていただきます。</p>	<p>危機管理課 地域つながり課 農地整備課 河川港湾課</p>

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
3	お茶農家への取り組みについて	<p>【質問】 西野町地区を始め西尾市は、てん茶栽培産地であり、市もてん茶栽培を全面的にPRしていますが、後継者がいないという理由のほか、諸経費が掛かりすぎて採算が取れずに廃業される茶農家が年々増えているのが現状です。その結果、農作放棄地が増え、周辺の栽培農家は害虫等の駆除をするなどの迷惑を被っています。このままでは、近い将来、大手の栽培農家のみが残る状況が予想されますが、大手栽培農家でさえ採算を取ることが難しい経営環境になることが考えられます。名産であるてん茶産地を守るための市の考えはどのようで、今後どのように対応しますか。</p>	<p>後継者不足や農業用資材の高騰などによる収益力の低下は茶農家に限らず、農業全体の課題と言えます。 茶産業につきましては、生産者個々の費用負担が増大していた学校茶摘みに対して、今年度より地域の伝統行事として今後も継続していけるよう経費の一部に対しての補助を新設しました。また、多くの茶農家が今後も営農を継続できるように、西尾市茶業組合の意見を聞いたうえで、市として取り組んでいることが2つあります。 一つは、人手不足の解消や将来の担い手育成にもつながる可能性もあり、西尾市茶業組合には学校茶摘みの受入の経験もあることから、援農ボランティア制度の試験導入を実施してまいりたいと思います。 もうひとつは、収益力を向上するため、茶の取引価格を上げていかなければなりません。そのためにも茶の品質だけでなく、ブランド力も上げるため、今後も継続して西尾の抹茶のPRに努めてまいります。</p>	農水振興課
4	商業施設の誘致について	<p>【質問】 米小校区も高齢化が進み、年々独居老人が増加しています。特に校区西側の白沢・里・蔵屋敷・宮前地区あたりには、食材を購入できるスーパーマーケットがなく、日々の買い物に苦労しています。 宮浦住宅のように、町内会が月に1回、移動販売を依頼している例もありますが、魅力あるまちづくりの一つとして、市として商業施設を誘致する考えはありますか。また、他に対応策はありますか。</p>	<p>宮浦住宅の移動販売につきましては、包括支援センター鶴城が住民からの要望により、安城市の市境まで来ている事業所と交渉し、本来は配達区域外のところを特別に巡回いただいております。巡回エリアの拡大についてはこれまでも包括から依頼しており、今般市からも直接話をしましたが、事業者からは収益にかかわることであり、ガソリン代等のコストがかかることや、時間の制約などから巡回できる場所には限界があり、たとえ近くであっても今以上の対応はできないと言われております。 他の事業者にも確認したところ、同様の理由で「米津エリアへの巡回は難しい」とのことでした。今後も要望を届けていくとともに、事業の拡大を期待しながら情報収集していきたいと思っております。現状では、白沢・里・蔵屋敷・宮前地区の皆様には、ご足労ですが、宮浦住宅での移動販売をご利用くださるようお願いいたします。他の対応策としては、買い物代行業者や宅配サービス業者の利用が考えられますが、こうした事業者の紹介や利用方法等については、地域包括支援センター鶴城が、高齢者が集うサロン等で情報提供を行っています。 市では、高齢者の方への支援として、高齢者のみの世帯で所得要件などにより、タクシー利用券の交付や配食サービスなどを行っていますので、市役所長寿課又は地域包括支援センターにお尋ねください。</p>	長寿課
5	商業施設の誘致について	<p>【質問】 米小校区も高齢化が進み、年々独居老人が増加しています。特に校区西側の白沢・里・蔵屋敷・宮前地区あたりには、食材を購入できるスーパーマーケットがなく、日々の買い物に苦労しています。 宮浦住宅のように、町内会が月に1回、移動販売を依頼している例もありますが、魅力あるまちづくりの一つとして、市として商業施設を誘致する考えはありますか。また、他に対応策はありますか。</p>	<p>「米津小学校区にスーパーが欲しい」という声は届いておりますので、複数のスーパーマーケットの運営事業者に対して、出店候補地としての可能性の有無についてヒアリングを実施したところ、出店の可能性はあるという回答はありましたが、「場所」、「面積」、「金額」などの情報が整った状態でないと具体的な検討は難しいとのことでした。 市としましては、民間事業者の不動産情報を把握する仕組みはありませんが、今後、該当地区での活用可能な土地の情報が入れば、スーパーマーケット運営事業者への情報提供をしていきたいと考えています。</p>	商工振興課

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
6	西尾市の北の玄関口米津小校区の環境整備について	<p>【要望】</p> <p>現在米小校区では、米津の川まつりを主催する「北部発展会」、夏祭り&盆踊りを開催する「やるじゃん！米津」の会、野良猫と共生できる町を目指してTNR活動を行っている「米小校区地域猫の会」などの団体が、校区の活性化及び環境整備のために活動されています。</p> <p>米小校区は市外や県外の方をお迎えする北の玄関口ですので、市の中心市街地だけではなく、中心市街地へのアプローチに好印象を与える場として、ワクワク感が感じられるような環境整備を進めてください。</p> <p>例えば、矢作川沿いは、堤防の桜並木や川まつりの花火など、電車や自動車の車窓からの景観を、工夫次第で観光化できるのではないのでしょうか。</p> <p>米津橋周辺の景観保護などの環境整備を進めることで、にしがま線存続のための利用促進活動の一助になると考えます。市が実施している「名鉄西尾・蒲郡線利用促進補助制度」は西尾駅から蒲郡駅が対象ですが、米津橋周辺の観光化を進めることで、米津駅周辺を含めたキャンペーンを実施してはどうですか。</p>	<p>野寺道の桜は、米津地区の貴重な桜スポットであり、桜の時期には名鉄電車から眺める景色にホッとすることもできると思います。</p> <p>本市には、歴史公園、八ツ面山公園や黄金堤、無の里の淡墨桜をはじめ、源空院の枝垂れ桜など、多くの桜を楽しめるスポットがあり、西尾市観光協会のホームページでお知らせしながら、観光客誘致に努めているところです。</p> <p>名鉄西尾・蒲郡線利用促進補助制度につきましては、にしがま線の利用を促進することを目的としており、対象者は西尾市民となっております。</p> <p>現時点では、米津駅を含めたキャンペーンの実施は考えておりませんが、野寺道の桜や川まつりなど、市民の方が鉄道を使って現地を訪れる際に本制度を利用いただくことで、蒲郡駅から西尾駅までの区間運賃に対する補助を受けることができ、お得に訪れることができます。</p>	地域つながり課 観光文化振興課
7	産業拠点について	<p>【要望】</p> <p>市が作成した「企業立地ガイド」に、産業拠点（工業系）として10数か所案内されていますが、地域住民に周知されていない拠点があるのではないのでしょうか。</p> <p>最近、西野町地区内の産業拠点に工場建設の計画がありましたが、該当農地が産業拠点として候補に挙がっていることは、市からの説明を受けた町内会長の連絡で、初めて知った住民がほとんどでした。地域住民及び拠点に隣接する農地の所有者の中には、工場建設に反対の方もいます。</p> <p>市は、以前、広報にしてお知らせしたそうですが、多くの住民は広報紙を隔々まで読んでいません。地域住民は工場建設による弊害も心配しています。西野町地区の建設計画は白紙撤回されましたが、他の地区でも同様の心配をする住民はいると思います。</p> <p>そこで、地域住民に対し、該当地区が産業拠点として登録された理由や、住民の心配に対して回答する場として、各地区で市主催の説明会を開催してください。</p>	<p>「企業立地ガイド」で案内している産業拠点につきましては、西尾市の都市づくりの基本的な方針となる都市計画マスタープランに位置付けている拠点になります。都市計画マスタープランは、策定後、5年から10年程度で計画を見直すため、これに合わせて、産業拠点も見直すことが多く、一部の産業拠点については、今回の計画において、新たに位置付けた箇所があります。</p> <p>産業拠点の位置付けにより、工場等が建設され、周辺の環境変化などを心配している周辺にお住まいの方がいらっしゃることでありますので、今後、新たな拠点として位置付けた地域については、関係町内会を通じて、回覧による周知を図ってまいります。なお、産業拠点に位置付けたことにより、事業者の進出が決まるわけではないため、本市では、建築開発事業指導要綱により、近隣の関係者は、計画段階で進出事業者の説明会の開催を求めることが出来ることにしていますので、その説明会が開催される際に行政の参加が必要であれば、参加への協力をしてまいります。</p> <p>産業拠点の選定理由につきましては、「津波」、「洪水」、「高潮」、「土砂災害」等の災害リスクのあるエリアを除き、ある程度の面積が確保できる適地の中から、工場建設に必要な様々な法令の許可要件や交通インフラの利便性等の要素を総合的に考えて、選定したものとなります。</p> <p>ただ、市内で災害リスクのないエリアというのは、非常に少ないのが現状であります。</p>	商工振興課 都市計画課

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
8	町内会活動の在り方について	<p>【質問・要望】</p> <p>現在、米小校区町内会の加入率は60%強です。その中で、22町内会会長一人ひとりの活躍と、町費の予算内で、地域の高齢者や子どもたちの見守り、防災や防犯、居場所づくりに対応しています。</p> <p>しかし、次の原因で町内会役員のなり手不足の状況に陥っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入者の中から役員を選出するが、定年延長等で専従の会長が見つけない。 ・町内行事への参加、様々な補助活動等のため、休日返上で活動する必要がある。 ・広報紙配布や交通指導員・機能別消防団員・民生委員の選出など、市からの委託事項が多い。 ・町内会非加入者も利用する、ごみステーションの管理で日夜疲弊する。 <p>米小校区では、町内会活動の見直しや改善を行い、役員の負担軽減を図っていますが、活動を持続していくためには多くの課題があります。</p> <p>先ほど挙げた中で、交通指導員、機能別消防団員及び民生委員の選出は特に困難です。これらは、市から個人へ要請すべきことではないでしょうか。特に、交通指導員は校区にこだわらず市が公募した方が、人材が集まりやすいと思います。</p> <p>改めて、市として校区町内会に、何をどこまで求めているのかを教えてください。併せて、町内会活動を持続可能にするための対策をご教示ください。</p> <p>また、任意団体である校区町内会役員に、地域と市の窓口となる、校区担当職員を配置してください。校区住民以外の職員でも構いません。情報共有や事務の効率化が期待でき、町内会の理解や協力も得られやすくなると考えられるので、検討願います。</p>	<p>市民の快適で安全なまちをつくるには、町内会組織は非常に大切で必要不可欠な存在であると認識しています。市としましても、広報や回覧物の配布やゴミステーションの管理など多大なるお力をお借りしていますこと改めて感謝申し上げます。町内会の存在意義については、近所づきあいが希薄になってきたと言われる時代ではありますが、防犯や災害時は、ご近所の顔の分かる付き合いが命や財産を守る上でも有効とされています。</p> <p>市としましても町内会に加入していただくことが有効であると考えますので、転入された方には市民課の窓口でチラシの配布し町内会への加入を促しております。また、地域にあった活動ができるように地域振興活動事務委託料や住民の交流を促すなどコミュニティの活性化を図ることが大切であると考えコミュニティ推進補助金などを助成しておりますので、有効活用して頂き、地域の皆さんで快適で安全なまちづくりに協力していただきたいと思います。</p> <p>交通指導員につきましては、お祭りなどの町内行事での交通誘導や小学校での交通安全教室で児童に指導していただくなど、地域での交通安全の推進にご協力をお願いしております。そのため、地域の交通事情に精通する各校区にお住まいの市民にご登録いただき、町内会との繋がりにより交通安全意識の向上が図られるものと考えておりますことから、引き続き校区に交通指導員の推薦をお願いさせていただきたいと考えております。</p> <p>民生・児童委員は、地域住民からの相談に応じ、行政の必要な支援へのつなぎ役として、また地域の見守り役として大変重要な活動をしていただいております。そのため、適任者の選出にあたっては、その方の人柄や地域の実情などを熟知した町内会の方々にご選任いただくことが、もっとも適切であると考えております。</p> <p>消防団員の選出につきまして、ご尽力をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>市と致しましても、魅力ある消防団にするために創意工夫を図るとともに団員の加入促進活動に全力で取り組んでおりますが、団員数の増加には繋がらないのが現状です。町内会長様におかれましても、引き続きご協力頂きますよう、よろしく願い申し上げます。</p> <p>市内にある全てのごみステーションを市で管理することは難しく、町内会の協力がなければ立ち行かない事業でありますので、ご苦勞をおかけしますが、引き続き町内会で管理をお願いしたいと考えています。しかしながら、全てをお願いすることは負担が大きいため、市で対応できることは対応させていただきますので、特にお困りの事案等につきましては、ごみ減量課ご相談ください。</p>	<p>危機管理課 福祉課 地域つながり課 ごみ減量課 消防総務課</p>

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
9	矢作川西尾緑地の整備等について	<p>【要望・質問】</p> <p>6月2日の豪雨による矢作川の増水に伴い、上塚橋と中畑橋間の河川敷にある矢作川西尾緑地の野球場、サッカー場及びテニスコートが被害を受け、現在使用できない状態です。</p> <p>矢作川西尾緑地は地域住民のスポーツや憩いの場となっていますので、早急な整備をお願いします。予算の関係もあると思いますが、今後の整備計画を教えてください。また、古川緑地が閑散としているように感じますが、市として有効利用する方法を考えていますか。</p>	<p>今後の整備計画につきましては、増水により被害を受けた施設の復旧を考えておりますので、復旧の予定についてお答えします。</p> <p>矢作川西尾緑地の復旧につきましては、復旧工事の施工業者が9月13日に決定いたしました。工事の工期としましては、令和6年3月を完了予定としておりますが、一日も早く工事が完了するよう努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>古川緑地が閑散としているのご意見につきましては、愛知県が管理する矢作古川の河川敷を利用していることもあり、設置できる施設は限定されております。そのため、遊具などの設置数は少なく、運動施設として利用する広場が多い状況です。特に平日は、閑散としているように感じるのではないかと考えられます。今後は、老朽化が著しく、ほとんど利用されていない下流側のテニスコートの廃止も視野に入れ、古川緑地の有効利用について検討してまいりたいと考えております。</p>	公園緑地課
10	子ども達の教育環境の充実について	<p>【意見】</p> <p>市では、最近、幼稚園・保育園、児童クラブ、学校プール、部活動など子ども達に関わる施設等を民営化する傾向にあります。</p> <p>子どもの教育環境の充実こそが、西尾市の未来を明るくさせる軸と考えているため、改革が急過ぎるようで心配です。</p> <p>施設等を民営化すると、業務内容が見えにくくなり、最近のニュースでも取り上げられているような状況に陥りやすくなるのが考えられます。つまり、行政の介入や監視体制が弱まり、手遅れの事態になるということです。また、学校プールは貯水槽としての役割も担っています。子ども達の教育環境の充実に向けての市長のお考えを教えてください。</p>	<p>子どもたちが豊かな教育を受けることは、将来を担う人材育成の観点から非常に大切であり、市としても教育環境の充実には、特に力を入れているところです。</p> <p>施設の民営化については、今後、加速度的に進んでいく人口減少や少子化といった大きな変革期に対応するためには、行政をスリム化していく必要があります。一方で、行政に対する市民ニーズは一層多様化していくことが見込まれています。こうした状況下では、市民サービスの低下を招かないよう、真に行政がやらなければならないことを見極めながら、民間事業者の力を活用していくことも必要になってきます。民間委託や民営化については、全肯定も全否定も適切ではありません。民間事業者はシビアな競争環境に身を置いていることから、民間事業者の力を活かすことを是としつつ、懸念される点を行政がカバーしていくことが最適だと考えます。民間委託等を進めていく際には、市民の皆さんが不安にならないよう丁寧に説明してまいります。</p> <p>学校のプールにつきましては、ほとんどの小学校で老朽化が進んでおり、すでに矢田小、花ノ木小、横須賀小の3校で、民間プールやホワイトウェイブの温水プールで水泳の授業を行っており、令和15年度までに順次、小学校の水泳授業は全て温水プールに切り替えていく予定です。3校で実施した水泳授業を検証したところ、温水プールでは、1年を通じて、天候に左右されず、快適な環境の下で授業が受けられること、専門のインストラクターの指導を受けられること、プールの維持管理の必要がないことなど多くのメリットがございました。水泳指導はインストラクターを中心に行っていますが、教員は子どもたちの動きに常に目を配り、安全確認しながら観察しています。学校教育課の担当者も定期的に指導状況等をチェックしており、民間委託をしながらも市教委として一定の関与はしています。</p>	子育て支援課 保育課 消防総務課 教育庶務課 学校教育課

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
			<p>部活動につきましては、国が、中学校の休日の部活動について地域移行を進める方針を打ち出しておりますが、本市といたしましては、子供たちや保護者が戸惑わないことを最優先し、当面は、民間委託ではなく、すでに外部コーチとしてご協力いただいている地域の指導者等を部活動指導員として市が直接委嘱する形で、段階的に進めております。</p> <p>部活動指導員の方には、ガイドラインを設けて、学校の指導方針に従い、子供たちが、将来にわたって、スポーツや文化・芸術に親しむことができるような指導をお願いしております。</p> <p>児童クラブの運営の一部を民間へ委託することについては、保護者の皆さまのご意見を伺いながら進めていきたいと考えています。その目的は、慢性的な人材不足による待機児童の解消と、保育終了時間の延長、配慮が必要な子の対応、利用者のサービス向上です。民間へ委託することにより安定的な人材の確保やICT技術の活用による保護者への情報伝達や、児童の通所管理などが可能となります。民間委託については、メリット、デメリットをお示したうえで、今後丁寧に説明していきます。また、保育園の民営化については、昨今の事件・事故の報道もあり心配されていることと思います。</p> <p>民営化により業務内容がみえなくなるという点につきましては、毎年年度当初には、子ども部長、保育課長及び担当者が訪問し、現状の把握と聞き取り等を行っております。また、5月から8月にかけて保育課主幹と指導主事が順番に全園を回り、保育の実施状況や危機管理などを確認し、保育に対するそれぞれの園の考え方を尊重しながら指導を行っております。</p> <p>保育課では、国や県から発信される安全に関するガイドラインなども全園に周知し、特に留意すべき点については、2か月に一度、市内の公立、私立の園長で構成する施設長会議を通して再周知するなど、緊密な関係や連絡体制の維持を図っております。</p> <p>このほかに本市では、民間園で働く保育士の給与が公立園と同じ水準となるよう、独自の補助を行い給与の格差をなくすことで、待遇面による労働意欲の低下防止を図るとともに、保育所保育指針や幼稚園教育要領などに基づいて行う研修については、民間園の職員にも参加していただき、保育の大切なところを共通理解できるように取り組んでおり、不適切保育を未然に防ぐための環境づくりに努めています。</p> <p>また、設置認可を行っている愛知県では、全ての民間園に対して毎年1回の指導監査を行い、保育課職員が県の職員に同行し保育の実施状況を把握し、必要に応じて指導するなど保育の質の確保に努めています。</p> <p>学校プールの貯水槽としての役割に関しまして、小学校プールが温水プールに移行した場合も、プール槽を取り壊すまでは、引き続き貯水槽として使用することは可能であると考えております。消防本部からは、「プール槽が取り壊された場合については、周囲に消火栓などの消防水利が無ければ、計画的に消防水利の設置を考えていく」と聞いております。</p>	

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
11	通学路の安全確保について	<p>【要望】 米津八百目信号の西約150メートルに位置する交差点は、通学路になっており、南北方向に横断歩道がありますが交通量が多く危険です。交通指導員が立つなどしてはいますが、子どもたちを始め誰もが安全に渡ることができるよう、押しボタン式信号の設置を希望します。</p>	<p>押しボタン式信号機の設置につきましては、令和元年度と令和3年度に同様の工事要望書の提出があり、当時の西尾警察署からの回答では、「新たに押しボタン式信号機を設置するには、縁石やガードパイプ等で区分され、歩行者が安全に信号待ちのできるスペースが必要になります。また、交差点直近には横断歩道用の押しボタン式信号機を設置できないため、横断歩道を移動させる必要があります。現場を確認したところ、近隣にはこの両方の条件を満たす場所がないため、現時点では押しボタン式信号機の新設は難しい。」とのことでした。ただし、令和3年度においては、先程の県道44号の横断歩道と同様に、通学時などでの児童の横断が危険であり、安全対策が必要と判断されましたので、市土木課にてグリーンベルトの設置と横断歩道のカラー舗装化を実施いたしました。今回、改めて現場を確認させていただき、西尾警察署に相談したところ、現場状況が変わっていないことから、「現時点では押しボタン信号機の新設は難しい。」とのことでした。</p>	危機管理課
12	サイクリングロードの整備について	<p>【要望】 週末になると、豊田安城サイクリングロード及び矢作川堤防道路を利用し、多くのサイクリストが米津橋方向に走っています。しかし、米津橋北交差点周辺は、渋滞の常態化、高架下の道路幅が狭い、道路の停止位置に傾斜があり自転車の転倒リスクがあるなど、交通事情が悪く、交通事故の危険があるため、サイクリングロード整備の必要性を強く感じます。 また、市内には河川・茶畑・海・電車など自転車ならではの楽しみ方ができる観光資源が多くあり、サイクリストのSNS発信力を活かした観光情報の拡散が期待できます。昨今のサイクリングブームを好機と捉え、自転車愛好家を市に呼び込む施策及び市民の健康増進を図る施策として次のとおり要望します。 1 矢作川左岸の茶畑方向へ、安全で快適に誘導できるサイクリングロードを整備するとともに、単体では注目されにくい箇所を含めた観光スポットを連結するようなサイクリングロードを整備し、豊田安城サイクリングロードへ連結させてください。 2 名鉄にしがま線をサイクルトレイン化し、自転車と電車を連動させた観光ルートを開発してください。 3 サイクリングロード付近に駐車場を整備し、自分の愛車で走りたい、遠隔地からのサイクリストを誘致する「西尾市サイクリング観光」を実施してください。 4 米津駅の利便性を高めるため、駅前でのレンタルバイク事業を検討してください。 5 県道44号と名鉄高架下の交通問題について、通学路として安全性を担保してください。 6 健康増進を図る施策として、市民に対してサイクリングを推奨してください。</p>	<p>1 矢作川左岸から茶畑方向ということで、米津橋から下流側への整備であると推察いたしますが、この区間は市道認定がされており、住宅が接道しているうえ、相応の交通量もあることから、自転車専用道としての整備は難しいと考えています。また、道路の一部をサイクリングロードとして利用するには、現状の道路幅員が狭いため、十分な幅員を確保することができない状態であり、また、新たに用地を取得し整備することは、多大な予算を必要とすることから、現実的には難しいと考えております。 ご要望にあるようなサイクリングロードの整備は考えておりませんが、自転車通行空間の面的なネットワーク路線を選定し、整備方法を検討する自転車ネットワーク計画を、今年度から2か年で策定予定であります。 主に通勤、通学、買い物客の利用する路線や、事故多発箇所の安全性向上に資する路線を選定し、効果的、効率的に整備を行うことで、自転車事故を防止し、安全で快適な自転車走行環境のネットワークを構築することを目的とした計画の検討を進めております。 2 名鉄にしがま線のサイクルトレイン化につきましては、平成19年に3か月ほど実証実験として実施しており、60名が利用しております。さらに、今年度、改めてサイクルトレインを活用した沿線観光の活性化に向けた企画を検討し、企画の実現に向け、名古屋鉄道と協議を行った際に、「過去に行った実証実験において利用が乏しかったこと」、「蒲郡線ではワンマン運転を行っており車両の積み込みに係る対応が困難であること」、「車両とホームの間が広く開いており、安全上の懸念があること」を理由にサイクルトレインを行うことは困難との回答があり、実施は難しい状況にあります。</p>	健康課 地域つながり課 観光文化振興課 土木課

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
			<p>3、4 現在、名鉄西尾蒲郡線沿線においては、西尾市観光協会が、西尾駅、上横須賀駅、吉良吉田駅、西幡豆駅、東幡豆駅でレンタサイクルを用意しているとともに、レンタサイクル用に西尾駅を基点とした4つの観光ルートを掲載したマップも発行し、観光客誘致に努めています。</p> <p>ご提案のサイクリングロードと、その付近への駐車場の整備は大変難しいと考えますが、単体では注目されにくい観光スポットを連結するようなルートの設定は有効であると考えますので、市が管理している駐車場を利用しての観光ルートの設定について、観光協会と検討してまいります。</p> <p>一方で、米津駅発着の観光ルートとしては、西野町の茶畑を通過して西尾駅に向かうようなルートも本市の魅力を感じてもらえるものでありますので、併せて検討していくとともに、モデルコースなどを盛り込んだルートについて、ホームページ等でPRしていきたいと思っております。</p> <p>また、米津駅へのレンタサイクル設置の要望については、観光協会にその旨伝えてまいります。設置する場合には、自転車等管理していただく地元の方も必要となりますので、その際はご協力いただきますようお願いいたします。今後も先進地の状況を確認するとともに、誘客の可能性、効果等を考えつつ、検討していきたいと思っております。</p> <p>5 県道44号と名鉄線高架下の交差点は幅員が狭く危険な状況であることから、市では米津小学校通学路の指定はしておらず、県道豊田一色線の米津町交差点から東へ名鉄線の下をくぐり、県道44号の横断歩道がある交差点へ出るルートを通学路にしています。</p> <p>令和3、4年度に行った通学路の緊急合同点検において、米津橋北交差点から岡崎方面へ向かう県道44号は渋滞が常態化しており、先程お話しした横断歩道のある交差点については、横断歩道が設置されているものの、通学時などでの児童の横断が危険であり、安全対策が必要と判断されましたので、米津橋北交差点の米津羊羹本舗前に「この先通学路注意」の看板を設置し、横断歩道の前後には赤く再塗装した路面上に「学童横断注意」の文字を表示し、一部グリーンベルトも実施しています。</p> <p>県道44号や名鉄高架下部の拡幅、歩道の設置等は難しい状況ではありますが、地元校区などの意見を聞きながら、児童が安全に登下校できる対策を引き続き検討してまいります。</p> <p>6 健康増進を図る施策として、市民に対してサイクリングを推奨してくださいというご意見につきましては、ウォーキングと同様にサイクリングも有酸素運動として、生活習慣病予防に有効と考えております。健康づくりの取組は様々で、サイクリングもその1つであると思っております。市民の皆さまには日常生活の中で様々な運動を行うことにより、健康増進の意識を高めていただければ幸いです。</p>	

9/29 西野町・米津小校区 令和5年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧[事前提出分]

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
13	市政懇談会後の報告について	<p>【要望】 町内会としては、「市長と語る市政懇談会」のために、校区全域から意見を募り、住民の思いを知ることができ満足しています。 懇談会が市政と校区に良い効果をもたらすために、市は懇談会の開催について周知するだけでなく、PDCAサイクルに基づき、改善、再計画、実施した内容等を、町内会に報告するとともに市ウェブサイトにて公開してください。</p>	<p>「市長と語る市政懇談会」の意見や質問等を事前に提出していただくにあたり、町内会長をはじめ、役員の皆様には、意見等の取りまとめ、資料の作成など、大変お忙しい中、ご尽力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>市政懇談会でお聴きした意見や質問等と、それに対する市の回答は、一覧表にまとめ、また、当日の会議録も合わせて、開催校区の代表町内会長に送付するとともに、市ウェブサイトにて公開しています。</p> <p>なお、公開する際は、懇談会時に回答した内容に対応措置等の進展があるなどの時点修正や追記が必要なものがあるか否かを担当部局に確認し、その後一覧表を公開しています。</p> <p>しかしながら、過去に開催した市政懇談会でお寄せいただいた意見や要望等の中で、「改善する」「検討する」「実施予定」などの回答をしたものについて、その進捗状況は、これまで公表しておりませんでした。市政に対する理解や関心を深めていただくため、市民の皆様と情報の共有化を図ることは重要であると認識しておりますので、随時、町内会へ報告することはできませんが、公開の方法は、手法も含めて検討してまいります。</p>	広報広聴課
14	市の機構改革について	<p>【質問】 市では、毎年どこかの課が名称変更しているようで、来庁するごとに迷ってしまいます。名称変更するたびに看板も作り直していますが、税金の無駄遣いではないでしょうか。市役所は使いやすく市民ファーストで、分かりやすい部・課名が良いと思います。市としてどのように考えていますか。</p>	<p>人口減少と少子高齢化、日進月歩で進化するテクノロジーへの対応、地球規模での環境問題など、現在、数々の深刻な問題に直面しています。さらに変化が激しく不確実性が高い社会経済状況の中、複雑多様化する行政ニーズに応えるため、市役所の組織や業務を見直す必要が生じています。</p> <p>時代に即した、課の名称や体制に見直すことは、その部署の業務内容をより明確にすることができ、市としてのビジョンを強く示すためにも有効な手段となります。</p> <p>一方、ご意見のとおり、来庁する市民の皆様にとっては分かりにくい状況も生じ、看板やパンフレットなどの変更に伴うコストも必要になります。</p> <p>これらを踏まえまして、課名等を見直す際は、その必要性と理由を明確にし、市民の皆様にも十分にご理解いただけるように対応していきたいと考えています。</p>	秘書政策課